

令和8年度 事務事業評価シート（1）

[令和7年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	堺市立病院機構運営費負担事業				事業番号	011-174	
担当部署名	健康福祉局	局	健康部	部	健康医療政策課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(2)かかりつけ医から高度医療までつながる地域医療体制の充実	
			有	取組の方向性	①地域医療体制の充実			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs未来都市計画2021-2025	施策との関連	有・無	指標名	—	目標値	—	
			無	現状値	—	目標値	—	
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	目標値	—	

2	関連計画	地方独立行政法人堺市立病院機構中期計画（第4期）		
3	事業開始年度	平成 24 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	地方独立行政法人法第85条等		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	地方独立行政法人堺市立病院機構				対象数	単位
						1	法人
7	事業の目的	堺市立総合医療センターが、救急医療、小児周産期医療等の政策医療や不採算医療を安定的に提供することにより、公的使命を継続して果たすことで、市民の健康の維持及び増進に寄与する。					
8	事業内容	救急医療、小児周産期医療、感染症医療等の政策医療、不採算医療の実施に係る経費について、地方独立行政法人法に基づき堺市立病院機構（35診療科・487床）に負担金を支出する。また、評価基準等の検討を行うため地方独立行政法人堺市立病院機構評価委員会を開催するほか、医療機器を購入、更新する経費の一部を法人に貸し付ける。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	地方独立行政法人堺市立病院機構					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	新入院患者数	人	目標値	16,300	16,300	16,300	16,300
			実績値	14,421	14,174		
			達成率	88%	87%		
	当該指標を選定した理由	新入院患者が増えることで、病床の稼働率、病院の収益性が向上し、財務状況の安定に寄与するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	堺市立病院機構が作成した第4期中期計画（令和6年度～令和9年度）及び年度計画に基づく。					
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	救急搬送受入件数	件	目標値	12,000	12,000	12,000	
			実績値	9,952	9,376		
			達成率	83%	78%		
	当該指標を選定した理由	救急患者の受入れ要請に応じた実績であり、活動指標の達成に寄与するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	堺市立病院機構が作成した第4期中期計画（令和6年度～令和9年度）及び年度計画に基づく。					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	堺市立病院機構運営費負担事業	事業番号	011-174
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	2,746,593	1,923,515	2,841,610	2,758,943	2,348,988
	財 源					
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	420,000	420,000	1,260,000	1,260,000	710,000
	その他（指定寄付金）	10	0	300	0	100
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
14	一般財源	2,326,583	1,503,515	1,581,310	1,498,943	1,638,888
	人件費（b）	20,250	20,250	21,000	11,760	12,180
15	年間経費（c）=(a)+(b)	2,766,843	1,943,765	2,862,610	2,770,703	2,361,168

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	決算				R7	決算		
16	事業費内訳	地方独立行政法人堺市立病院機構 評価委員会報酬	R7 決算	61	61	その他使用料及び賃借料	R7 決算	16	16	
			R8 予算	102	102		R8 予算	0	0	
	普通旅費		R7 決算	0	0	堺市立病院機構運営費負担金	R7 決算	1,498,752	1,498,752	
			R8 予算	13	13		R8 予算	1,638,591	1,638,591	
	消耗品費		R7 決算	25	25	堺市立総合医療センター指定寄付 金負担金	R7 決算	0	0	
			R8 予算	20	20		R8 予算	100	0	
	郵便料		R7 決算	1	1	医療機器整備資金貸付金	R7 決算	1,260,000	0	
			R8 予算	12	12		R8 予算	710,000	0	
	筆耕翻訳料		R7 決算	88	88		R7 決算			
			R8 予算	150	150		R8 予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
17	① 延べ患者数	人	380,834	368,845
	② 上記①にかかる年間経費	千円	1,943,765	2,770,703
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	5,104	7,512
	算出についての説明等	延べ患者数とは、入院患者延数と外来患者延数を合算したものを。		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	運営負担金は、地方独立行政法人法第85条に定める設立団体が負担すべき費用であり、本市においては、政策医療等の実施に係る経費を総務省が定める公営企業繰出金基準に準じて算出している。 令和7年度は、本市からの医療機器整備のための貸付金増額等により、事業費は増加している。本市からの負担金を活用し、年間を通じた救急医療の提供や、小児医療を必要とする患者の診療、感染症指定医療機関として新興感染症等に対応する危機管理体制の整備等に取り組んでおり、一定の費用対効果はあったと評価する。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	令和7年度においても年間を通して救急医療の提供を行い、救急搬送受入件数9,376件（応需率79.6%）、三次救急搬送受入件数717件（応需率94.0%）、小児救急搬送受入件数1,338件（応需率95.5%）、救急搬送からの入院件数4,127件と安定した受入体制を継続している。また、小児救急医療については、堺市こども急病診療センターの後送病院として堺市内で最も多く受入れを行ったほか、経営指標の一つである手術件数は6,200件となり前年度から増加している。一方で、周産期医療に関しては産婦人科医師の人員不足により令和7年2月から分娩の休止が続いており、早期の再開が求められる状況である。全体としては、事業目的である政策医療、不採算医療等の医療提供はおおむね達成されており、堺市基本計画2025における「①地域医療体制の充実」に寄与したと評価する。
----	---

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	本市は地方独立行政法人堺市立病院機構の設立団体として、地方独立行政法人法に基づき負担金の支出が必要である。地域医療体制の充実を図り、市民の健康の維持及び増進に寄与するため、堺市立総合医療センターが救急医療、小児周産期医療等の政策医療や不採算医療を安定的に提供することが有効である。
	有効性	■ 高い □ 低い	